

PROFILE
越智隆雄

政治家 × ビジネスマインド × 研究者 × 国際感覚



1964年2月27日生
慶應義塾大学(経済)卒業
東京大学大学院(政治)修士
仏ESSEC大学院(経営)修了
住友銀行勤務13年
内閣府大臣政務官
内閣府副大臣
衆議院財務金融委員長
家族 妻・娘(13歳)

1964年東京・世田谷生まれ。慶應義塾幼稚舎・普通部・高校を経て慶應義塾大学経済学部卒業。中高は剣道少年、大学は国際経済協力に関心を持ち東南アジアを中心に諸外国を訪問。

1986年より13年間住友銀行に勤務、主に証券等新規業務立上げに従事。その間フランスESSEC大学院大学(経営学)修了、NY勤務等海外経験も積む。

1999年祖父・福田赳夫の志に近づくべく政治の世界へ。国会議員秘書、国務大臣秘書官を経験した後、2002年より歴史観・国家観を定めるべく東京大学大学院法学政治学研究科(日本政治外交史)で北岡伸一・田中明彦両教授に師事。

2005年修士課程修了、2012年博士課程中退。著書に「Looking for Leadership」(2015年、JCIE、共著)。

2005年衆議院初当選(東京6区・世田谷)、4期。内閣府副大臣(経済財政政策・金融担当)、内閣府大臣政務官(金融・行政・規制改革、女性活躍・少子化対策担当)、自民党国会対策副委員長、財務金融部会長、法務部会長等歴任。
現在、衆議院財務金融委員長。

議員活動の傍ら2011年一般社団法人日本の未来研究所設立、人口減少高齢化を直視した上で2050年の国家像を構想するとともに、小学生から社会人までを対象に勉強会・講演等を通じて政治リテラシー向上のための活動に邁進。

[衆院選と主要な役職]

衆院選 初立候補 惜敗	2003年11月
衆院選 1期目当選(東京6区)	2005年09月
衆院選 惜敗	2009年08月
衆院選 2期目当選(東京6区)	2012年12月
自民党 国会対策副委員長①	2013年01月
自民党 国会対策副委員長②	2013年08月
政府 内閣府大臣政務官 (女性活躍、少子化対策、行政改革等担当)	2014年08月
衆院選 3期目当選(東京6区)	2014年12月
自民党 国会対策副委員長③	2015年10月
政府 内閣府副大臣① (経済財政政策・金融等担当)	2016年08月
衆院選 4期目当選(比例)	2017年10月
政府 内閣府副大臣②	2017年11月
自民党 政務調査会財務金融部会長	2018年10月
自民党 政務調査会法務部会長	2019年09月
衆議院 財務金融委員長	2020年10月

私の選挙区は、東京6区です。

お知り合いがいっぱいいたら、
「おちたかお」を紹介して頂けたら嬉しいです。



私の活動を紹介します。
ご覧・ご登録頂けたら嬉しいです。

越智隆雄 @ochitakao
 世田谷のオススメを更新
 おちたかおファンページ
 メールマガジン
 おちたかおのおっちゃんねる
www.ochi-takao.jp

越智隆雄 事務所

国会事務所 〒100-8981 千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館1105号室 TEL:03-3508-7479 FAX:03-3508-3359
世田谷事務所 〒154-0023 世田谷区若林1-7-2 リンコート三軒茶屋1F1号室 TEL:03-3413-4600 FAX:03-3413-4601

発行元:おちたかお政策研究会 TAKAO MAGAZINE 2021.10.4

TAKAO MAGAZINE



愚直に、真摯に、公平に。
誰よりもこの国を想う政治家でありたい。

越智隆雄

私の思い

「この国の流れを変えたい」

右肩上がりから右肩下がりへ。1990年代のバブル崩壊、金融危機を経験し、志を立て、民間から政治の世界に挑戦することを決めました。

以来20年余、国会議員として12年余、経済財政金融ならびにライフスタイル・人口問題などを中心に、この国全体の経営をみる意識で、内閣府副大臣や衆議院常任委員長、自民党政務調査会部会長など、政府・与党の政策責任者として取り組みました。

しかし、小泉構造改革でも、アベノミクスでも、この国の流れは変えられませんでした。経済は低迷し、借金は増え続け、人口は減り、競争力も伸びません。問題はますます深刻になり、国力は知らず知らずに確実に落ちていきます。

大きな時代の転換点に立つ日本。人類史上初の人口減少社会へ。経済大国から経済小国へ。さまざまな不安を払拭しようと、対処療法的に問題を解決しようとする政治が、この国の将来に対する不安を益々大きくしていると感じています。

多くの制約の中で、いかにして国の経営と国民の生活を成り立たせるか。「21世紀型の新しい国家ビジョン」を構想し、それを実現するための具体的な方法を考え、行政を動かし、社会を変えていくことが、私の政治家としての使命です。

また、政治に対する信頼を築き直すことが必要だと感じています。祖父・福田赳夫が残した言葉「政治は最高の道徳」を大切に、自民党の立党精神「政治は国民のもの」を実現すべく、一人一人と共感が生まれる政治をつくっていきます。

政治家×ビジネスマインド×研究者×国際感覚。これまで57年余の経験と、未来に対する熱い思いをフル稼働させて、全力で取り組んでいきます。

この国は素晴らしい可能性をもっています。みんなが、豊かに自分らしく、安全に安心して暮らせる社会をつくり上げる。もっとワクワクできる国になるように、未来と一緒に切り拓いていきましょう。

越智隆雄

私のやりとげたいこと

1 この国の流れを変える -世界を先導する国、日本へ-

「失われた30年」から脱却し、未来に希望をもてる国をつくり、世界を先導する国にする。政権中枢でこの国の経営を実践する経験を積む中で、私自身、この国のトレンドを変えるために必要な、いくつかのキーポイントが明確になってきました。新しい国づくりです。これから10年でやり遂げたいと考えています。



4 人生100年時代のライフスタイルへ -人生の節目に選択肢が広がる社会へ-

学習・就業・老後の3ステージ・ライフは時代に合わなくなる。学習した後は、転職や社会奉仕や趣味・旅行など様々な活動を織り交ぜ人生を組み立てる、人生100年時代のライフスタイルを想定する。年金・医療・介護だけでなく、子育て・就業・居住など、人生の各ステージに応じてサポートできる仕組みづくりに挑戦します。



2 経済・財政・金融を強くする -DXを徹底活用することで強かな経済へ-

右肩上がりの経済、内外から信頼される財政、そして挑戦を後押しする金融をつくる。大学で経済学を、その後ビジネススクールで学び、民間企業で13年。そして政治家として主に経済分野の政策を担当。これまでの経験や感覚をフル稼働させて、これから数年でDXを徹底した強かな経済を実現したいと考えています。



5 多様性を認め合う社会へ -自分らしく生きやすい社会へ-

グローバル化やインターネット普及などによって、正しいとされてきた考え方に加えて、他にも価値観があることが明らかになり、人々はより自分らしく生きたいと考えるようになりました。これまで、社会で共有されてきた価値観に囚われることなく、時代の変化に合わせ、多様性を前提とした社会にしていきたいと考えています。



3 人口の減少を克服する -ストレスなく子どもを生育てられる社会へ-

人口が減り続けられない社会をつくる。このままだと2100年には5千万人に。子どもを授かりたい人が、躊躇なくストレスなく生育てられる社会をつくり、そのことで、人口の急減を克服する。全く新しい発想で、地方創生や保育所増設に代わる、都市から地方への人の動きをサポートする政策をつくりました。人類史上初の人口減少問題を克服するために挑戦します。



国家ビジョンをつくるための活動

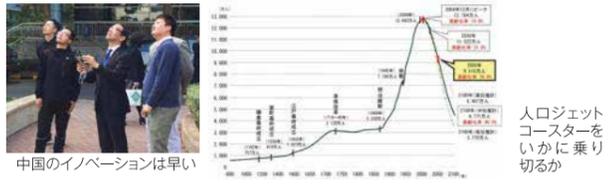
1 政策を研く

日本の未来を、国民自らが考え、決め、実行に移してゆく。そんな世の中にしたいたいとの思いから、様々な取り組みをしてきました。国家ビジョンをつくるため、第一線で活躍している方々からお話を伺い、話し合い、学び合うことを大切に考え、勉強会、報告会、座談会などを開催。ビジネスパーソン向けの「おちたかおフォーラム」、世田谷開催での「おちたかお政策研究会」を中心に活動を展開しています。



2 未来を構想する

過去の延長線上に明るい未来は拓けない。「日本の未来研究所」を2010年に立ち上げ、日本の現状をできる限り具体的に想定し、実現可能でもっとも意欲的な国家ビジョンを描くため、活動を続けています。また、世界の最先端を知り、日本モデルを提案するために積極的に海外を訪れています(訪問国40カ国、海外生活3年)。



3 次世代と対話する

日本の未来を担う若者にもっと自分の国を好きになって欲しい。だからこそ、今の日本が抱える問題をきちんと説明し、どうすれば日本をよくできるかを一緒に考え、若者たちの意見や思いを政治に反映することを大切にしています。インターン受入れ、学校での授業を積極的に実施しています。



4 政治を身近にする

政治について家族と友人ともっと気軽に話せ、議論できる社会を実現したいとの思いから、「親子で国会に行こう!」を開催したり、小中学生や高齢者クラブ等様々な国会見学会を実施しています。日本の政治リテラシーを上げることが、私の大切なライフワークの一つです。



5 考えを発信する

今の日本について、これからの日本について、一人でも多くの方と一緒に考えていきたい。そんな思いから、国内外で講演会やシンポジウムに登壇するなど、普段は年間50回ペースで発信活動を続けています。執筆や寄稿などの発信にも力を入れています。



6 国家ビジョンを提案する

政策を研ぎ、未来を構想し、次世代と対話し、政治を身近にし、考えを発信する。そして、国家ビジョンを提案する。国民生活の変化や時代の要請に合わせて、制度や法律を変えていく。時には変化を先回りして価値観を導いていく。その実現に向けて、必要に応じて提言にまとめ上げて、要路に働きかけています。「政治家はLaw-Makerであると同時にValue-Setter」、そんな気持ちで取組んでいます。



おちたかおの実績は、www.ochi-takao.jpへ